鷲別小学校区に関する地区別検討委員会

第１回　会議録

日　時　令和８年７月２２日（水）午後６時００分

場　所　鷲別コミュニティセンター

〇事務局	時間になりましたので、ただいまより鷲別小学校区における学校適正配置に関する地区別検討委員会の第１回会議を開催いたします。 議事に先立ちまして、登別市教育委員会教育長　安宅錦也　よりご挨拶申し上げます。教育長、よろしくお願いします。
〇教育長	皆様、本日はご多忙の折、また夜間にもかかわらず、「鷲別小学校区における学校適正配置に関する地区別検討委員会第１回会議」にご出席いただき、誠にありがとうございます。教育長を務めております、安宅でございます。 委員の皆様におかれましては、日頃より本市の教育行政、そして何よりも地域の子どもたちを温かく支えていただいておりますことに、心より感謝申し上げます。 さて、鷲別小学校は、明治２３年の開校以来、１３０年以上の長きにわたり、この地域の「心の拠り所」として在り続けてまいりました。 これまで数多くの卒業生を送り出し、地域の皆様が我が子のように学校を愛し、守り、育ててくださった歴史は、本市にとっても大きな財産であります。町内会の皆様、PTA の皆様が、運動会や地域の行事、日々の登下校の見守りなどを通じて、学校と深く結びついてこられたその情熱と愛着には、ただただ敬意を表するばかりでございます。 このように、地域に深く根ざした大切な学校でありますが、皆様もご実感されてます通り、近年の少子化の波は、私たちが想像する以上の速さで進んでおります。 子どもたちが多様な考え方に触れ、切磋琢磨し、社会性を育むためには、一定の集団規模を維持することが極めて重要です。少人数だからこその良さがある一方で、子どもたちが将来、広い世界へ羽ばたいていくための教育環境をどのように整えていくべきか、今まさに真剣に向き合わなければならない時期に来ております。 この適正配置の議論は、決して「学校を効率化する」ためのものではありません。「これからの未来を生きる子どもたちにとって、どの

	ような教育環境が最も望ましいのか」という、子どもたちの未来を最優先に考えた前向きなものでございます。 本日お集まりいただいた皆様は、これからの地域と子どもたちの未来を誰よりも真剣に考えてくださっている方々です。 皆様の立場から、率直なご意見や、地域としての想いをお聞かせいただきたいと思います。歴史ある学校への愛着や寂しさといった皆様の「想い」にもしっかりと耳を傾けながら、10 年後、20 年後の子どもたちが「この環境で学べて良かった」と思えるような、最善の道をともに探ってまいりたいと考えております。 委員の皆様におかれましては、どうか大所高所からの活発なご議論を賜りますよう、切にお願い申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。
〇事務局	教育長ありがとうございます。 本日が第１回の会議ということですので、すでにお互いご存じの方もいらっしゃるかと思いますが、改めて、それぞれ簡単な自己紹介をお願いします。 **（各委員より自己紹介）**
〇事務局	ありがとうございます。 それでは、議事に入らせていただきたいと思います。本日の議事は、お手元にあります次第に記載のとおりとなります。 最初に、本地区別検討委員会は、鷲別小学校区における学校適正配置に関する地区別検討委員会設置要綱により設置しており、会長と副会長を委員の互選により決定することとなりますので、委員の方から立候補を募りたいと思いますが、まずは会長に立候補される方はいらっしゃいますでしょうか。 立候補される方はいらっしゃいませんか。 いらっしゃらないようですので、事務局案を提示させていただきたいと思います。会長に　稲葉　雅幸　様を推薦したいと思いますが、いかがでしょうか。 **（異議なしの声あり）**

〇事務局	それでは　稲葉　様よろしくお願いします。 続きまして副会長の立候補を募りたいと思います。立候補される方はいらっしゃいませんか。 いらっしゃらないようですので、事務局案を提示させていただきたいと思います。副会長に　村上　淳　様を推薦したいと思いますが、いかがでしょうか。 **（異議なしの声あり）**
〇事務局	それでは　村上　様よろしく御願いします。 それでは議事の進行は、鷲別小学校区における学校適正配置に関する地区別検討委員会設置要綱第６条第２項の規定により稲葉会長に御願いしたいと思います。稲葉会長、よろしくお願いします。
〇会長	会長に選任された稲葉です。議事等の円滑な運営にご協力をお願いします。 それでは、議事に入ります。 「鷲別小学校区の現状と今後の見通し、地区別検討委員会での議論について」と「保護者向けアンケートの実施について」を一括して議題とします。事務局より説明をお願いします。
〇事務局	**（事務局より資料に基づき説明）**
〇委員	若草小学校と鷲別小学校の統合によって、学級数が基準に足るようになるとのことですが、令和 29 年度以降になると、また各学年１クラスになるような状況が推測されているような状態ですが、その後についてはどのように考えているのでしょうか。 また、令和 29 年度以降に登別市内において、学校の合併が発生するということであれば、令和 28 年度までは若草小学校の校舎を使用するということで、そこまでの若草小学校の耐用年数を満足しているのでしょうか。

〇事務局	令和 29 年度以降の状況について、現在の想定では、市内を４地区に分けて、各地区に１つずつ小学校は残していけるものと考えています。 校舎は、建築から 80 年間を大規模改修等を重ねながら使っていきたいと考えており、若草小学校は、当面使用できるものと考えております。
〇会長	ありがとうございます。他にいらっしゃいますでしょうか。
〇委員	室蘭で 40 年くらい学校に勤めていて、６校勤務しました。最後の海陽小学校だけが残っていて、あとは全部無いんです。学校名も無いんです。１つは、学校が無くなるということは、そこに住む人々、今でいえば鷲別小ですね。ここの活性化や目標、子どもたちの思いやりであるとか、そういうものが薄くなっている。１つの学校が消えるということは大変なことなんだなと。そういう意味では、行政も地域の方々、保護者に丁寧な説明をしていかないと。例えば１年生が踏切を渡るのかとなりますよね。確かに中学生なんかは遮断機が降りるのにどれくらいかかるのかわかるから、サーッと行ってしまう。そういうのを見てる子どもたちは悪い方を見倣う。大きな事故に繋がることを保護者は危惧している思います。 それともう１つが、１学級 20 名という数が一応目処だよと、じゃあ 15 じゃダメなのかと。確かにデメリットあります。ただ、色々な受験とかそういう面でいうと、中学校の場合は大きなまちの場合は１学級というのは厳しいと思います。でも、現実には室蘭市の星蘭中は１学級です。それで西中とどうのこうのというのがあって消えてるんです。小規模ということは学習面ではそれほど心配は無いと思っていますが、やはりクラス替えをできることは人間関係が固定化しないので望ましい。この子とこの子は離した方が良いというのが１学級ではできないというデメリットはあり、生活面の心配はある。 私自身が小学校複式学級だったんです。中学校で大きいところに行ってびっくりしたんですけど、ただ、そういうのも丁寧に考えていか

	ないと、安易に数が 20 人切るからというのでは納得できないものもあるのかなという気がしています。
〇会長	ただ今の件について、事務局、いかがですか。
〇事務局	学校名につきましては、若草小学校区の PTA の方等も踏まえて、学校統合委員会で話し合い、決定していくことになります。
〇委員	この会議も今後何回かあると思いますので、その都度考えていきたいなと思っております。
〇委員	私の父親も室蘭市出身で、小中高と全ての学校が無くなっているんですけど、やっぱり学校名のところは、当時話が出たときに歴史がある方に寄せた方が良いのではないかという父親の考えはありました。ただやはり、消える方もあったりということで、室蘭の場合は新しい学校名ということで進めたのかなと思っています。室蘭の統合というものを見ていて、登別もいつか来るだろうなというのは私も思っていました。 私も私の母も鷲別小学校の卒業生で、ずっと鷲別だったんですよね。ずっと地元にいたので、鷲別に対しては凄く愛着が自分自身あります。ただし、時代の流れというか、少子化というところはどうしても避けられないかなということで、こういう話はいつか出てくるかなというところで、それが現実になったものと思います。 教育委員会とはちょっと違うと思うんですけど、例えば今提案してくれた若草小学校という話で、中学校は鷲別に残るという話がありますけど、今後どんどん少子化が進んでいくと次の段階が出てくると思うんです。その時に鷲別地区というまちはどうなるのというところが出てくると思います。 まちのところは教育委員会の話では無いんですけど、市の中でその辺りのビジョンも含めて考えていただきたい。どうしても推計のところで児童数がこれだけ減りますよとなると、市の人口も減っていくと

	思うんです。その中でそれぞれの持っているまち、そういうところも鑑みながら、小学校が無い地域に誰が引っ越してきますかというところなんです。引っ越してくるのはやっぱり小学校が近くにある、だから行こう、引っ越そうというところになってくると思うんですよね。そういうところも踏まえて、今回のところはやっていっていただければと思います。 　若草小学校を今使うという案が濃厚だということなんですけど、そこの理由をちょっとお聞かせいただきたいなと思います。
○事務局	若草小学校の校舎を使用したいと考えている理由についてですが、まずは教室数の問題があります。 　統合した場合、各学年で３学級の場合もあります。２学級の学年もございます。となりますと、現在の鷲別小学校の規模の２倍あるいは３倍近くの教室数が必要になりますが、現在の鷲別小学校の校舎で普通教室として使用している教室数が 10 教室、特別活動室として使っている部分を合わせたとしてもそれを十分に足りるだけの教室が確保し難いという状況があります。 　もう１つが津波等、災害が発生した際、先ほどの資料でも示させていただきましたが、高台避難場所までの距離というのが、若草小学校の方が相当近くなりますので、小学生でも高台避難が一層容易になるものと考えておりまして、若草小学校の校舎を使いたいと考えています。
○委員	教室の数というところは現実的にはそうなのかなと思うんですけど、津波のパターンですね、鷲別小学校を新しく建てるときは、大きな津波、想定される津波が来ても大丈夫というところで多分建てたと思うんですよ。それに対して安心感を持った地域の方々が居たと思うんですよね。それが今になって、確かに遠くの方がより安心だというのはわかるんですけど、そもそも想定されている津波ってどれくらいを見ているのというのもあると思いますし、小学校にいれば上に行けば良いでしょという話もあると思うんですけど、じゃあ上に行くより

	も遠くに行った方が良い、遠くに行くのは体力的には難しい、だったら若草小学校に行きましょう。 じゃあ中学校の子たちが鷲別小学校を使ったときに、今言ったような高い津波が来たときに、中学校の子たちが行けるかどうかというのは、どれくらいのものを想定して考えているのかなというところも、逆に言ったら中学生も若草町まで歩いて行けるくらいのものを想定して話をしているのか、そこまでの想定が無くて、ただ単純に小学生の方が体力が無いから若草小学校の方が高台が近いからというものなのか、ある程度具体的なところまで示してあげた方が、中学生は海に近いところに残る訳ですから、そこもちょっとあるのかなと。
○事務局	今、説明させていただいた津波の想定については、大津波警報の時の津波をイメージした図面を使わせていただきました。想定としては３ｍを超える津波になります。警報としては大津波警報が出た場合ということになります。 大津波警報が出ますと、鷲別小学校区も、若草小学校区も全部浸水区域に入ってしまうので、避難が必要になることに変わりは無いんですが、線路の問題がありまして、避難としては若草小学校の方が高台への避難がスムーズにいくということになります。 津波の高さでランクが色々ありまして、津波警報という区分がございます。こちらは３ｍ以下の警報になりますが、その場合は鷲別地区は避難区域になりますので避難が必要になりますが、若草小学校は避難区域に入っていないです。津波がそこまで到達しないということになりますので、津波警報では若草小学校は避難の必要が無い地区になります。津波という点での説明になるんですけども、そこは若草小学校と鷲別小学校のところでは違うのかなと考えてございます。
○委員	大津波警報を想定した場合、３ｍの高さ、ある程度早い段階で速度が強いものを想定するかどうかだと思うんですけど、その場合、中学生が逃げられるのかというのも結構厳しいのかなと思うんですよね。

	今、小学校の話をしているから良いですけど、一方で小学校は鷲別小学校、中学校は若草小学校というのも、何もわからない方はそういう発想も出てくるのかなと思うんですよね。大津波が来たときに中学生は逃げれるのか、中学生は良いのかという話にもなるかなと思ったので、その辺りがどういうものを想定していたのかというのがわからなかったので、お聞きしたんですよね。
○オブザーバー	大津波のことでは小学校でもいつも相談しているんですよね。これまでの大津波が来るというときに、だいたい 40 分程度あるんです。僕たちは２年に１度高台への避難をやっています。それをやると、１年生から６年生まで全部高台避難場所まで登るのに二十数分かかるんですよ。ということは、今警報が出て、逃げなければいけないということになったら、鷲別小学校の校舎に残ることは選択せずに高台に逃げようと考えています。 小学生の足で二十数分ということは、中学生であればおよそ半分で済むんですよ。だから時間的に考えたときに津波警報が出たときは、高台に逃げる方を選択するのではないかと考えてますので、教育委員会が言っている若草町にいて大津波警報が出たら小学生は簡単に逃げられる、中学生も今までの国で出している津波到達想定時間を考えると、十分に逃げられるのではないかと思います。 小学校１年生で二十数分、ということは中学生であれば十数分で逃げられるのではないかと考えています。
○委員	ご説明いただいた避難訓練ですけど、例えば大津波警報が発令され、到達予想時刻が 39 分後と出てきた場合に、低学年全児童が若草小から避難するとして、冬期で路面が凍結している、かつ本番で実際に避難するとなると、道路は閉塞しますし、避難する地域の住民の方で混乱するんですね。 これ私の実体験で、東日本大震災の時に、当時、私の居た場所は全部浸水しているんです。避難する時に目の前で人が跳ねられているのを見ていますし、車なんて道関係無く、詰まっているので歩道を走っ

	てくるんですよね。その前提でも大丈夫ですかというところは心配になってくるんですけど、そういった極限状態の想定ってされたことってありますでしょうか。その辺り検討に乗っていたら教えていただけると幸いです。
〇オブザーバー	歩いている様子を考えると、普通の雪が積もった程度であれば可能だと思います。 もう１つ我々が心配しているのは、小学生で屋上に逃げて何日も過ごせるか、親がいない、大人が教員だけという状況を耐えられるかということを考えて、今美園方面から室工大、東翔高校へ逃げることも今年は訓練でやろうと考えています。 それを考えたときに、小学生が校舎の屋上に逃げるよりも、中学生が逃げた方が良いかなと、どちらか取るとしたらそっちの方が良いかなと考えいます。 雪が降っていたとしても時間を考えたときに、我々は校舎ではなくて、高台の方に逃げたいなと、すぐ家族に会えるところを選択したいと今は考えています。 先生方で話し合って、どちらに逃げた方が子どもたちのためになるのか、２日目はどうするのか。ここに迎えに来てくださいというときに校舎の上であれば浸水しているかもしれなくて、誰も近付けられない可能性もありますよね。それを考えた時には浸水の可能性が低いところに逃げるべきですよねというところで話し合いが進んでいるところです。
〇委員	今、検討委員会を鷲別小学校、鷲別地区の関係者でやってますけど、若草小学校、若草地区のところでもやられるという理解でよろしいでしょうか。
〇事務局	鷲別小学校区の地区別検討委員会で、統合ということで方向性が決まりました後に、若草小学校と一緒になってまた学校統合委員会というものを立ち上げて、話し合っていくことになります。

〇委員	鷲別地区の検討委員会で結論を出し、意見書を出してから、若草小学校、若草地区は一緒にやるということですか。意見書を出したとなると、ほぼほぼ決定というような意向で進むんですか。
〇事務局	その時に、鷲別小学校の今後の教育についてどのような在り方が望ましいかというところで検討いただくことになります。
〇委員	その段階ではまだ校舎をどっち使うかというよりも、意向ということでその次のステップに進むという認識で良いですか。
〇事務局	委員会の協議で統合という方向性になった時には、どの校舎を使うのが望ましいかということになりますが、今回は先ほど説明しましたとおり統合するにあたっては児童数の関係から鷲別小学校の校舎は使えない、統合イコール若草の校舎ということになります。
〇委員	若草小学校を利用する前提での話になっているとのことですね。
〇事務局	今回この会議を協議させていただいているのが、今年３月に鷲別コミュニティセンターで説明会を開催し、新たなグランドデザインというものをお示しさせていただいて、その中で今説明させていただいたとおり、市教育委員会としては鷲別小学校を若草小学校に移転するというかたちを示させていただいておりますので、それをご議論していただく中で、まずは鷲別地区で若草小学校に行くのをどうでしょうかということをお示しさせていただいているので、そこの議論を尽くしていただきたいと考えています。意見書では、そちらに移転するというところでの方向性ができて初めて若草小学校との話し合いという形に進んでいきますので、そこから校舎をどうするのかという議論が始められるということではなく、まずはこちらの色々なものを踏まえた私たちのお示ししたものを叩いていただいて、統合に向けた提案をいただきたいという形です。

○委員	今の教育委員会からの若草小学校を今後利用する鷲別小学校と若草小学校の統合という提案が出ているんですよね。ここに対して、色々な方々が意見を出し合って、そこに対して若草小学校と統合するのは良いけども鷲別小学校を使いたいという話になっていくこともあるんですか。
○事務局	議論の中では当然そういう話が出てくると思うんですが、私どもも現実的には先ほどの説明のとおり、校舎がそのままでは使えない、鷲別中学校もまた老朽化が激しいというところから、そこの今後というのも含めて皆さんにご協議いただきたいので、鷲別小学校をそのまま使いたいというご意見も当然出てくると思いますけれど、その辺りを総合的に踏まえまして皆さんのご意見、総意をいただきたいと思います。
○委員	幌別東小が幌別小と統合しましたよね。この時校名の問題が起きたかということが１つ。幌別東小の方から。 それから室蘭市の場合は校舎を新しくしている。違うイメージでポンと出てくるから名前を変えてもある程度ストンと落ちたんです。そこがちょっと室蘭と登別の違いだと思うんですよね。 温泉小学校が登別小学校に来た、幌別東小が幌別小に行ったという時にこういう問題はどうなりましたか。
○事務局	今、委員がおっしゃったように、幌別東小学校と幌別小学校、来年の４月に登別中学校と幌別中学校が統合します。 意見の中では当然学校名の話が出てきましたけれども、今委員がおっしゃられたように、室蘭市だと校舎を新しくして心機一転みたいな感じかなと思いますが、私どもは今校舎を新しくしないで、現校舎に統合するという形を取っているというところから、新しい名前も議論としては出てきたんですが、結局は統合される側の幌別東小学校、登別中学校においては現校舎を使うというところで、校名の変更は無し

	というところが地区別検討委員会の中での議論を尽くした中で、そのような結論を出したという形になります。
〇委員	文科省、登別市の基本方針として、各クラスの人数が定められているところですが、これは法律等でいうところの義務でしょうか、努力義務でしょうか。 望ましいという記載がありましたので、努力義務のような形なのかなと考えますと、第一案として統合という案が出た経緯を教えていただきたいと思います。
〇事務局	義務か義務ではないかというところでは、義務ではございません。 ただし、今後児童生徒数が減っていく見込みの中で、今後どうしていくか議論を開始するおおよその目安が、学級数、あるいは１学級数あたりの人数がそのようになった学校を検討の対象とさせていただくという形になっています。 そういったところで、今回鷲別小学校につきましては、学級数あるいは児童数が目安を下回っておりますので、検討させていただくということです。
〇委員	統合委員会の中で統合しない方針で、現状の学校を維持していくという方針は今のところ議題には挙がっていないということでしょうか。
〇事務局	基本的には、お子さん方の教育環境を考えたときには、統合させていただいて、一定規模を確保する方が良いのではないかということで、教育委員会としては提示させていただいております。
〇委員	承知しました。ありがとうございます。
〇オブザーバー	統合については今年の３月に出てきたわけではなくて、令和３年の段階で出てたんですよね。

	今年ポンと出たわけではなくて、実は６年くらい前からそれが出てて、その当時新聞にも出ていたから、知っている保護者の方は知っていますよね。
○事務局	適正配置の取組は二段階構成になってまして、まずは当市の学校の規模が小学校が１学年１学級以上、ただし２学級以上が望ましいですよという方針が平成２６３年に作っている、これは令和６年に一度見直しをかけています。 併せて、令和３年度にグランドデザイン第１回目をお示しさせていただいて、その時には、鷲別小学校と若草小学校が統合する、児童生徒数の減少数が激しいので統合しますというところまでは６年くらい前にお示しさせていただいています。 それが６年くらい経って、想定以上に児童生徒数が減っている、想定を下回ってきているので、改めて見直しをしましょうというのを今年３月にお示ししましたが、その時点で、鷲別地区というのは当初の想定以上に生徒数が減ってきているというところもあって、今回初めてお示ししたのは、若草小学校をの校舎を使いましょうという部分ですが、元々児童生徒数の減少は６年以上前から想定されていて、それ以上の落ち込みがあったというところで兼ねてから統合というところは６年前からあったというところです。
○委員	鷲別小学校と若草小学校の統合ということですが、色々な課題があるんですよね。鷲別小学校と若草小学校が統合するにしても、通学方法なんですよね。 例えば、新１年生が栄町あたりにある跨線橋を渡るとしたら大変です。天気の良い日ばかりではない、雨の日も雪の日もある。だいたい跨線橋を渡ること自体が大変ですよ。ぐるーっと回ると踏切を渡らないといけないだろうし。 その辺も保護者の意見、アンケートを取っていると思うんですが、どうなっていますか。

〇事務局	保護者向けのアンケートは、これから取らせていただきます。
〇委員	色々な案が出てくると思うんですよね。今の国道を横断するにしても、鷲別町１丁目もそうだけど、学校のところも、そういうところを通らないで、今遠回りになっているけど、歩道橋を通って小学校に行ってますよね。 国道でもそうなんですけど、例えば跨線橋を渡っていくとなると大変です。ましてや低学年、おそらく小学校３年生くらいまでは難しいのではないか。高学年になってくれば体力も増えるし、まず１つはそういうところがあるし、色々な話がこれから出てくると思うんですよ。 今ここで話しても、保護者が納得するかということですよね。それをこれからの検討委員会で１つずつ取り上げてキチッとした話にしていかないと。ただ話し合いしているだけで結論が出ない。その部分については、保護者にアンケートを取った結果を出てきてから検討委員会で１つずつ精査していかないと、色々な考え方がありますので、今日は１回目ですから色々な意見が出たと思いますけど、次回から１つずつ決めていかないとならない問題だと思います。
〇委員	以前も若草小学校と統合になるという噂が流れていたんですよね。 その当時の校長先生に統廃合になるっていうことを、今入学しましたけどどうなるんですかという話をしたことが何回かあるんですけど、今一切そういう話出てませんよという、どこから話出てますかという感じだったんですけど、父兄は今一緒になるような感じで思っていました。 ただ、鷲別小学校が新しくできた段階で、これは鷲別小学校としていくんだなという安心感で通学させてると思うんですよね。この統廃合の話が出た段階で父兄はすごく不安に思っていると思うんです。 国道を渡らなければならないことと、栄町の跨線橋、本当に裏通りになりますし、この課題に対する案の写真は若草町側からの写真であって、鷲別側からの写真が載ってないんですけど、草はボーボーだ

	し、家はみんな後ろ向いていますので、通っているのが誰かわからなくて、凄く不審者も出ていたところなんですよね。 私たち見守り隊としては、怖いところと認識しています。それを、何人か少ない１年生を渡らせるというのも父兄からすると心配だと思います。それであれば若草小学校と一緒になるのであれば、心配なのでスクールバスを出すとかそういう形の方が良いかなと思いますし、踏切も線路をほとんど使ってないですよね、２本しか。凄く広いのにも関わらず電車は２本しか使ってないので、子どもたちは鷲別に電車が通ってから、あそこの踏切に来るまでの時間というのが普通列車というのは凄く長いんですよ。ところが特急、すずらんや北斗なんかはあっという間に来てしまうんですよね。 踏切が鳴って遮断機が降りてしまったら、その時間が小学生には計れないんじゃないかと思うんです。十分教えないとダメだと思います。本当に嫌になるくらい待たされるんですよ。車もすごく渋滞します。特急なんかだったら鷲別で出てくるのがわかるんですけど、それからあっという間に来てしまうので、まかり間違って渡ってしまったら大変なことになるなという心配を持っています。あの近くにいる父兄、住民の方はわかってると思いますけど。 あともう１つは、統廃合したからの若草小学校までの踏切渡ってからの道は行き方が色々あると思うんですが、線路沿いは車がすごく速いのでとても怖いですし、死亡事故が何件かありましたので、そういうことは若草の人たちは知っていても鷲別の人は知らないと思うんですよね。 それと、近道を通っていく車も多くて、元の布団屋さんのところの角のところの川みたいなところを近道していく車がすごく多くて、速いスピードで行っちゃうので、子どもたちはそういうのに慣れてないと思うので、すごく心配です。 それと、時々警察は踏切の若草側の川沿いに止まっててくれますけど、間違えて行ってしまった車とか、スピードを出していっちゃう車に対して、パトカーが追いかけたりするんですけど、若草小学校のグ

	ラウンドを通って行っちゃいますので、運動会にならないというのを見たことがあります。通学路の心配があるという。
○事務局	これからアンケートを未就学児、これから小学校に通われるお子さんをお持ちの保護者の方にアンケートを取らせていただきます。今小学校に通っている方とこれから通う方、両方の保護者にアンケートを取ります。 その中に、鷲別小学校から若草小学校に行くことで通学の距離が長くなることや、そこで交通事故が不安ではないかということもアンケートの項目に入れさせていただいております。 そういうところで保護者からの意見というのを市教育委員会で集めさせていただいて、次回の会議の中でその結果、これから学校に通われる保護者の皆様ですとか、保護者の皆様がどのようなことを考えていらっしゃるのかということを報告させていただいて、また議論を始めていただくことになります。
○委員	これは鷲別小の父兄に対して。若草小の父兄にはしないのですか。
○事務局	若草小は次の段階になってこようかと思います。鷲別小と若草小が一緒になるとなってから、通学路であるとか、そういう話は次の段階でお話ししていくことになると思います。 まずは鷲別地区の保護者の方々が、通学に対してどのように考えてらっしゃるか、不安をお持ちでないか等をアンケートで取りまとめさせていただきます。
○委員	そのアンケートの結果は開示されるんですか。この委員会でなくて、鷲別小学校に通っている親御さんに対して、アンケートの内容及びその回答結果って開示されるんですか。

〇事務局	その結果につきましては、次回の委員会でお示しさせていただきまして、その委員会の資料自体が公表されますので、結果としては開示されている形になるかなと思います。
〇委員	何のツールで開示されるんですか。
〇事務局	市公式ウェブサイトで公表させていただきます。
〇委員	それは小学校で通達される予定ですか。ウェブサイトで開示されるといっても多分知らないんですよ。
〇事務局	今後、保護者向けに適正配置の関係のお便りを出させていただこうと思っておりまして、その中でこの件についても書かせていただこうと思っております。
〇委員	アンケートに設問が色々入っているんですけど、それがどれくらいの比率でというものが全部開示されるんですか。
〇事務局	開示します。
〇委員	わかりました。
〇委員	アンケートの開示なんですけど、「その他」という選択肢の下に自由記述の欄があるんですけど、匿名化して併せて開示されるような開示方法は可能でしょうか。 その中身って色々なことを書かれる方もいらっしゃるかと思いますので、私個人としても気になるんですけど、その辺りがもし可能であれば皆さんに集計取った後に開示してあげてほしいなと思いました。
〇事務局	承知しました。

〇委員	もし開示を予定しているのであれば、アンケートのところに「開示を予定している」と書いた方が良いのではないですかね。 そうするとアンケートを回答したときに開示されるんだって認識するんだと思うんですよね。
〇委員	今の意見、賛成です。これだと、学校評価のアンケートみたいな、そのような感じを受けるかもしれない。前提として、今のどうですかと聞いた方が、親は現実感を帯びて、我が子のことを考えて書いてくれると思うので。
〇会長	アンケートにつきましては、事務局の方で今まで出ましたご意見を反映させていただいて。よろしくお願いいたします。 他、何かございますか。
〇委員	今まで直接教育に関わることが中心だったと認識しているんですけど、スライドの中で放課後子ども教室、放課後児童クラブについて言及されているスライドがあると思うんですけど、①～③の選択肢があって、③は鷲別は距離が遠くて現実的ではないから①，②になるであろうとコメント書きがあるんですけど、これは①、②、②は若草の児童クラブを使います。①というのは連携って書いているんですけど、③の趣旨からいくと、若草側で対応させるという形だと思うんですけど、規模感としては、若草が 50 人くらいですよね。鷲別って 40 人くらいだと思うんですよ。 トータル 90 人受け入れるという認識で大丈夫なのかと疑問に思ったんですけど、説明してもらえたらうれしいです。
〇事務局	放課後児童クラブにつきましては、国がだいたいの基準、児童 1 人に対して何平米というものがありまして、そういうことも踏まえて保健福祉部の方で定員数を決めております。 そういったところを踏まえて、どれくらいの規模が必要かということを協議させていただきます。

〇委員	基本的には、今受け入れている子どもたちはそのまま全員受け入れてもらえるということですか。
〇事務局	その前提です。当然、放課後の児童クラブって鷲別に拠点があるとしても、若草から一旦こっちに帰ってくるというところは現実的ではないと思いますので、それは若草小学校で想定人数を勘案して、もしかすると一部校舎の改修であるとか、今教室として使っているところを上手く利用して、90 人くらいというのに対応できるように保健福祉部と調整しているところです。
〇委員	わかりました。ありがとうございます。
〇委員	ことばの教室とか今入ってますよね。そこは中学校になった場合どうなるんですかね。今色んなところから通ってくださる保護者もいらっしゃると思いますけど、中学校になった場合、そのまま残りますかという。
〇事務局	ことばの教室につきましては、今実際に通級されているお子さんの状況はありますが、現在の鷲別小学校からは移転することになるものと考えております。
〇委員	児童クラブ、働いてる親御さんのお子さんたち、両校一緒になったら一緒に使える場所ってあるんでしょうか。
〇事務局	先ほど村上委員からもお話がありましたが、若草小学校の方に何らかの 90 人なら 90 人を収容できるようなスペースは確保します。
〇オブザーバー	放課後児童クラブは国で決められていて、学校帰って保護者の方が居ないと、それで一時的に預かりましょう。時間が 18 時とか 18 時半

	までと決まっているのが放課後児童クラブなんですよ。これは鷲別小学校にも若草小学校にもあるんですよ。 放課後子ども教室というのは、鷲別小学校でいうとひなわし、あくまでもボランティアの方々が全部やってくださって、地域の子どもは地域で面倒見てあげようという趣旨で週２回ほど見ていただいているんですよね。それが若草には無いですよね。これについては設置義務無いんですよ。あくまでもボランティアなので、今の方々が、若草小学校まで行って開いてくれるんであればあるんですけど、そういう方が居なかったら子ども教室というのは無いんですよね。 ただ、心配されているように、放課後児童クラブについては、人数が 50 人だろうが極端に言えば 100 人だろうが、それは設置しないといけないので、どのような形をとっても設置していただかなければいけないということです。
〇事務局	ちなみに数年前に統合した幌別東小学校も放課後子ども教室がありましたが、統合した後にその活動をやっていただける、仲間、後継者というのが上手く見つからないということで、幌別東小学校については、移転を機に幌別東小学校の子ども教室は終了という形になって、今は児童クラブと児童館の方で対応している状況です。
〇委員	今日も 60 人くらい来ていましたから、そういう広いところは無理ではないかなと思っています。
〇会長	それでは皆さん、よろしいでしょうか。 今日第１回目ということもありますので、この後アンケートの案内や送付をやっていただいて、その結果が次回出ると思いますので、よろしくお願いします。 これで第１回目の検討委員会を終了します。皆様お疲れ様でした。